

2026
Vol.37

九大別府病院 だより

Kyushu University
Beppu Hospital



RALS(ラルス)スタッフ一同

病院の理念・基本方針

理 念

患者さんに満足され、医療人も満足し、医療の発展に貢献する病院を目指します。

基本方針

- ◆ 高度医療の提供と研究開発の推進
- ◆ より高い医療安全の追求
- ◆ 地域医療への貢献と医療連携の強化
- ◆ 情報技術・国際化による未来志向型医療の推進
- ◆ 全人的医療を実践する医療人の育成

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

病院長ご挨拶	2
子宮頸がん治療の新たな選択肢	3
—高精度な放射線治療「RALS(ラルス)」を導入—	
紹介元医療機関の紹介 麻生整形外科クリニック	4
新任医師の紹介	5
外来診療案内等	8



九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital



ご挨拶

九州大学病院別府病院

病院長 三森 功士

近年、社会は急速かつ大きな変化の渦中にあります。国際情勢の不安定化、物価やエネルギー価格の高騰、少子高齢化の進行など、地域医療を取り巻く環境はこれまで以上に厳しさを増しております。そのような時代だからこそ、地域に根ざした大学病院として、安心して医療を受けられる環境を守り続けることの重要性を、私たちは改めて強く感じております。患者さんご家族に寄り添いながら、「地域医療の最後の砦」としての使命を果たすべく、職員一同、日々全力で診療・研究・教育に取り組んでおります。

当院は2021年、文部科学省の承認を受け、3期にわたる再開発事業を開始いたしました。第1期として新病棟の建設はすでに完了し、最新の医療環境のもとで診療を開始しております。現在は第2期として既存棟の大規模改修工事を進めており、来年夏頃の完成を予定しております。さらに第3期では、病院周辺の土地利用を通じて、本院のみならず別府市全体、さらには東部医療圏の活性化に寄与する新たな拠点形成を目指しております。現在、土地利用に関する企画公募も開始され、医療・研究・教育・交流・観光など、多様な機能が融合した未来志向の街づくりに向けた構想が動き始めています。地域の皆さま、企業、教育機関、行政などが連携し、若い世代の方々にも「この街で学びたい」「この街で働きたい」「この街に住みたい」と感じていただけるような、夢と活気にあふれた魅力的な地域創生につながる企画を広く募っております。次世代型の医療キャンパスとして、地域社会の未来に貢献してまいりたいと考えております。

診療面におきましても、当院は大きな進化を遂げております。整形外科では、全国から患者さんが来院される脊椎外科に加え、昨年夏より関節外科診療を本格始動し、すでに高い評価をいただいております。内科では、従来のリウマチ・膠原病診療に加え、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科が極めて充実した体制を整えております。婦人科では、別府市の婦人科がん診療を当院が中心的に担う体制となり、放射線科と連携した腔内照射装置(ラルス)を本年初夏より稼働させ、地域の切実な医療ニーズに応えてまいります。外科では、肝胆膵領域の高難度手術や腹腔鏡下消化管手術を通じて、九州大学の叡智を結集した高度な集学的治療を展開しております。乳がん治療においては県内トップクラスの実績を有し、九州大学形成外科との連携による整容性と安全性を両立した乳房再建術も好評をいただいております。放射線科は国内トップレベルのIVR技術を有し、低侵襲治療を提供するとともに、別府市内で唯一、放射線治療専門医を擁する施設として高度ながん診療を支えています。さらに麻酔科は安定した診療体制のもと、すべての診療科の高度医療を安心・安全に支えております。

不確実な時代だからこそ、私たちは「もし自分や家族が病気になったなら、受診したいと思える病院」であり続けたいと考えております。これからも職員一同、誠心誠意、地域の皆さまの命と暮らしを守るために尽力してまいります。本年も変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



KYUSHU_UNIV_BEPPU_HOSP

九州大学病院別府病院
公式Instagram

子宮頸がん治療の新たな選択肢

— 高精度な放射線治療「RALS(ラルス)」を導入 —



九州大学病院別府病院では、2026年5月より婦人科悪性腫瘍に対する高線量率小線源治療装置(Remote After-Loading System : RALS)を用いた治療を開始しました。



当院の婦人科では、女性ヘルスケアと婦人科がん診療に力を入れており、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣・卵管・腹膜がん、膣がん、外陰がんなどに対して専門的な治療を提供しています。

放射線治療は、体の外から照射する「外部照射」と、病変の近くから照射する「内部照射(小線源治療)」に大きく分けられます。RALSはこの内部照射の一種で、ガンマ線を放出するイリジウム192を病変近くまで遠隔操作で送り込み、がんに集中的に放射線を照射する治療法です。

病変に高い線量を届けながら周囲の正常組織への影響を抑えることができるため、RALSを用いた小線源治療は子宮頸がんに対する根治的放射線治療において欠かすことのできない治療です。子宮頸がんでは、病状に応じて、手術以外にも、外部照射とRALSを組み合わせた放射線治療が根治を目指す標準的な治療選択肢となります。

CT一体型治療室が実現する高精度治療 — 移動なく、より正確に —

当院のRALS治療室にはCT装置を併設しており、CT画像を用いた高精度な治療を同じ寝台上で行うことができます。

従来は、X線画像で治療器具の位置を確認し、決められた基準点を目安に治療を行っていました。CT画像を用いる現在の方法では、病変や周囲の臓器を立体的に見ながら、それぞれの患者さんに合わせて放射線の当て方を細かく調整できます。

施設によっては、治療器具を挿入した後に別室のCT装置で撮影を行う場合もありますが、当院では治療室内にCT装置を備えているため、患者さんの移動を伴わずに撮影を行うことができます。移動を伴わないため、挿入した器具の位置ずれなどのリスクを低減でき、CT画像を確認しながら、必要に応じて器具の位置を調整することも可能です。

これは、CT装置を備えたハイブリッド手術室で、手術中に画像を確認しながら安全に手技を進める考え方にも近いものです。治療器具の位置をその場で確認しながら治療計画を立てることで、より正確で安全性に配慮した治療につなげています。

婦人科と放射線科が連携する集学的ながん医療 — 専門家が力を合わせて支える治療体制 —

婦人科がんの治療では、手術、薬物療法、放射線治療などを適切に組み合わせるとともに、複数の診療科や多職種が連携することが欠かせません。

当院では、婦人科腫瘍医と放射線診断医・放射線治療医が密接に連携し、診断から治療計画の立案、照射までを一体的に行っています。さらに、看護師、薬剤師、診療放射線技師をはじめとする専門スタッフがチームとして患者さんを支え、安全性と治療効果の両立を目指した集学的ながん医療を提供しています。



治療計画風景

地元で受けられる高度ながん治療へ — 九州大学病院別府病院の新たな挑戦 —

2024年の婦人科診療再開以来、当院では女性特有の疾患や婦人科がんに対する診療体制の充実を進めてきました。

今回のRALS導入により、婦人科がんに対する放射線治療の選択肢がさらに広がり、地元にいながら高度で専門的ながん治療を受けられる環境が整いました。

九州大学病院別府病院は、婦人科と放射線科を中心とした多職種連携のもと、今後も安全で効果的な医療の提供に努め、皆さまが安心して治療を受けられる体制づくりを進めてまいります。

当院の受診を希望される方は、地域医療連携室にご連絡のうえ、ご予約をお願いいたします。



クリニック外観



診療風景

麻生整形外科クリニックの麻生邦一と申します。

平素より九州大学別府病院には当院紹介の患者さんの診療で大変お世話になっています。大分県の脊椎外科の最高峰として難しい症例の数々を治療していただき、感謝申し上げます。特に播広谷先生とは、先生が九州大学整形外科学教室の医局長の頃から存じ上げており、また私自身の腰部脊柱管狭窄症の手術もなさって下さいました。今日私が整形外科診療を続けられ、またテニスを楽しめるのも先生のお陰と感謝致しております。

私は昭和46年に九州大学医学部を卒業し、関連病院を研修の後、佐賀県立病院に勤務中に新設の大分大学医学部整形外科学教室に行くよう命じられました。13年間勤めた後現在の地に開業致しました。

さて私どものクリニックは大分市の西、テニスコートやラグビー場のある駄原総合運動公園の前にあります。平成6年に無床診療所を開院しましてからもう32

年になります。開業のコンセプトとして、専門分野の手・肘とスポーツ医学を柱とし、開業しても手術は続ける、と決めて今日まで参りました。リハビリテーションにも力を入れており、PT,OTによる運動器リハと物理療法を行っております。昨年10月からは息子が日赤病院と掛け持ちで手伝ってくれております。

開業して良かったことは、開業医はまさしく町医者であり、患者さんとじかに密接に接して診療できることが魅力です。今後も丁寧な診察を心がけ、患者さんに「来て良かった」と満足していただけるような診療を目指したいと思っています。これからいろいろな症例でお世話になると思いますが、引き続きよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら貴病院および整形外科部門の今後ますますのご発展をお祈り致します。

◆DATA

住 所：大分県大分市新春日町2-3-13

電 話：097-546-8080 FAX：097-546-8087

資 格：日本整形外科学会専門医

日本手外科学会指導医・基幹研修施設

スポーツ医（日本スポーツ協会、日本整形外科学会、日本医師会）

日本リウマチ学会専門医・ECFMG（米国医師留学資格証）

診療科目：整形外科・形成外科・リハビリテーション科

◆アクセスMAP



内科



大塚 恭子（おおつか きょうこ）

2026年4月より九州大学病院別府病院内科に赴任いたしました大塚恭子と申します。九州大学第一内科に入局後、主に関節リウマチや膠原病など自己免疫疾患の診療に従事してまいりました。

関節リウマチ・膠原病は慢性疾患であり、患者さんと長期にわたってお付き合いする診療科です。日々の体調の変化や生活上の不安なども、気軽に話していただける存在でありたいと思っています。また併存症を抱える患者さんも多く、当科でカバーできない疾患については、他科や他院の適切な医療機関へおつなぎする橋渡しとしての役割も大切にしていまいります。

日出町の出身であり、地元である大分県の医療に少しでも貢献できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



上野 翔平（うえの しょうへい）

2026年4月より内科（腫瘍内科）に赴任しました、がん薬物療法専門医の上野翔平と申します。赴任して以来、別府の豊かな自然や温泉、地域の皆様の温かいお人柄に触れ、この街の心地よさを実感しています。「がん」という診断を受け、不安や戸惑いを感じない方はいらっしゃいません。私たち腫瘍内科医は、抗がん剤などの「薬物療法」を専門とする医師ですが、ただ薬を処方するだけが仕事ではありません。患者様のライフスタイルや、大切にしたいこと、想いなどにじっくりと耳を傾け、数ある選択肢の中から「その患者様にとって一番納得のいく治療」を一緒に探していくナビゲーターのような存在です。治療中はつらいことや迷うこともあるかもしれませんが、そんな時、いつでも気軽に相談でき、心に寄り添える医師でありたいと思います。どんな些細なことでも構いません。遠慮なくご自身の想いをお聞かせください。一緒に前を向いて歩んでいきましょう。



堀内 俊輔（ほりうち しゅんすけ）

このたび、糖尿病内科常勤医として勤務させていただくことになりました、医師8年目の堀内俊輔です。私はこれまで糖尿病内科を専攻し、糖尿病をはじめとした生活習慣病の診療に携わってまいりました。今年度より、糖尿病内科常勤医として勤務することとなり、身の引き締まる思いです。

また、当院はかつて私の父も勤務させていただいていたご縁のある病院でもあり、この地域で診療に携われることを大変うれしく感じております。患者さん一人ひとりの生活背景を大切にしながら、安心して治療を続けていただける医療を提供できるよう努めてまいります。地域の皆さまのお役に立てるよう尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



樋口 裕紀（ひぐち ひろき）

2026年4月より内科に赴任いたしました樋口裕紀と申します。2020年に九州大学医学部卒業後、主に福岡県の急性期病院で研修を行って参りました。

消化器内科医として患者様に安心して受診していただけるよう苦痛の少ない内視鏡検査を心がけると同時に、疾病の早期発見・早期治療を行い地域の健康維持に貢献できるよう努力いたしますので、何卒よろしくお願いいたします。

外科



笠木 勇太 (かさぎ ゆうた)

2026年5月より外科に赴任いたしました笠木勇太と申します。赴任以前は九州がんセンターで多くの消化管癌、特に胃・大腸がんの臨床経験を積んでまいりました。初期診療から高度な専門的治療、精度の高い診療を積極的に提供できる様心がけてまいります。至らない点多々あるかと存じますが、精一杯努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



永島 翔一郎 (ながしま しょういちろう)

2026年4月より外科に赴任いたしました永島翔一郎と申します。九州大学卒業後、九州中央病院にて初期臨床研修を行い、その後、九州大学大学院消化器・総合外科(第二外科)に入局いたしました。以後、福岡県内各地の関連病院に加え、中津市民病院、大分医療センターにて後期研修を行い、外科診療の研鑽を積んでまいりました。

まだまだ若輩者ではございますが、別府地域の皆様の健康を支え、地域医療に貢献できるよう尽力してまいります。精一杯努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

整形外科



山田 尚平 (やまだ しょうへい)

2026年4月1日より九州大学病院別府病院整形外科に赴任いたしました、山田尚平と申します。九州大学整形外科に入局し、今年で整形外科医5年目となります。これまで複数の関連病院で幅広い整形外科診療に携わってまいりましたが、当院ほど脊椎疾患の症例が豊富な環境は初めてであり、日々多くの学びを得ております。整形外科外来では脊椎疾患に悩まれる患者さんも多く、診療を通して専門性をさらに高めていきたいと考えております。今後は脊椎および関節疾患の研鑽を積み、地域の皆様に安心して受診していただける整形外科医を目指して努力してまいります。至らぬ点もあるかと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



中野 暖基 (なかの はるき)

2026年4月1日より九州大学病院別府病院に赴任いたしました中野暖基と申します。別府での生活は初めてですが、温泉を代表する観光地としての別府特有の風土と地元の方々の温かい人柄に触れ、住み心地の良さを実感しております。当院では播谷教授のもと、脊椎・関節外科の診療に携わっております。これからもみなさまの笑顔を原動力に、別府医療圏に貢献できるよう日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

放射線科



吉満 凜吾 (よしみつ りんご)

2026年4月より放射線科に赴任いたしました吉満凜吾と申します。九州大学医学科を卒業後、2019年に九州大学放射線科に入局し、福岡で主に放射線治療医として研鑽を積んできました。新しい環境での診療は不慣れな点もありますが、大分の皆さまのがん治療に貢献できるよう努めて参ります。

また当院では放射線科医員と同時に外科研究室の大学院生としても在籍する機会を頂きました。研究という未経験の領域は日々学びの連続ですが、一歩ずつ確実に成長していきたいと考えております。

至らない点多々あるかと存じ上げますが、診療と研究の両方に尽力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



竹中 耕平 (たけなか こうへい)

2026年4月より放射線科に赴任いたしました竹中耕平と申します。2021年に北海道大学を卒業した後、初期研修を経て九州大学放射線科に入局し、福岡県内の病院で画像診断および血管内治療を中心に研鑽を積んでまいりました。現在は大学院にも所属し、日々の診療に加えて研究活動にも取り組んでおります。

画像診断は診療方針の決定や治療効果判定において重要な役割を担っており、正確かつ迅速な診断を心掛けております。血管内治療においても患者さんにとってより良い医療を提供できるよう努めてまいります。また、研究を通じて得られた知見を臨床へ還元していきたいと考えております。至らない点もあるかと存じますが、精一杯努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

麻酔科



赤星 純平 (あかほし じゅんぺい)

2026年4月より麻酔科に赴任いたしました赤星純平と申します。2023年に九州大学を卒業後、北九州市で初期臨床研修を行い、九州大学麻酔科に入局いたしました。麻酔科として1年間研鑽を積んだのち、今年度より九州大学病院別府病院にて勤務させていただくこととなりました。

自然豊かで人の温かい大分県で働くことができ非常にうれしく思っております。麻酔科医として、皆様に安全な周術期医療を提供できるよう尽力いたします。何卒よろしくお願いいたします。

九州大学病院別府病院 外来診療案内

2026年6月1日現在

科名	外来診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ感染症内科 (新患予約制)	三 苫 弘 喜 大 塚 恭 子	三 苫 弘 喜 大 塚 恭 子	三 苫 弘 喜 押領司 大 裕 子	病 棟 回 診 日	三 苫 弘 喜 押領司 大 裕 子
	腫 瘍 内 科 (新患予約制)	上 野 翔 平	上 野 翔 平			上 野 翔 平
	循 環 器 内 科 (新患予約制)	甲 木 雅 人	甲 木 雅 人 池 田 昌 隆 午後 心血管カテーテル 検査・治療日	甲 木 雅 人 池 田 昌 隆	病 棟 回 診 日 午後 心血管カテーテル 検査・治療日	甲 木 雅 人
	糖 尿 病 内 科 (新患予約制)	堀 内 俊 輔		堀 内 俊 輔	病 棟 回 診 日	堀 内 俊 輔
	消 化 器 内 科 (新患予約制)	樋 口 裕 紀	川 床 慎 一 郎	川 床 慎 一 郎		川 床 慎 一 郎
外科	一 般 管 門 消 化 肛 門	三 森 功 士 米 村 祐 輔 三 森 功 士 胡 笠 木 勇 太	三 森 功 士 手 術 日	三 森 功 士 米 村 祐 輔 三 森 功 士 胡 笠 木 勇 太	三 森 功 士 手 術 日	三 森 功 士 手 術 日
	肝 ・ 胆 ・ 膵	米 村 祐 輔		米 村 祐 輔		米 村 祐 輔
	乳 腺	三 森 功 士 安 東 由 貴	三 森 功 士 手 術 日	三 森 功 士 安 東 由 貴	三 森 功 士 手 術 日	三 森 功 士 安 東 由 貴
整形外科	脊 椎 ・ 脊 髄 (完全予約制)	手 術 日	熊 丸 浩 仁 貴 島 良 広 伊 東 尚 平 山 田 暖 基	手 術 日	播 谷 勝 三 貴 島 賢 三 伊 東 良 広 中 野 暖 基	播 谷 勝 三 熊 丸 浩 仁 山 田 尚 平 中 野 暖 基
	股 関 節 ・ 膝 関 節 (完全予約制)	原 大 介	手 術 日		原 大 介	手 術 日
婦人科	婦人科腫瘍 女性ヘルスケア (完全予約制)	手 術 日	園 田 頭 三 村 上 孟 司 新 貝 妙 子 中 村 恭 子	園 田 頭 三 村 上 孟 司 新 貝 妙 子 中 村 恭 子	手 術 日	園 田 頭 三 村 上 孟 司 新 貝 妙 子 中 村 恭 子
放射線科	放射線画像診断	平 川 雅 和	竹 中 耕 平	平 川 雅 和	平 川 雅 和	平 川 雅 和
	放射線治療	本 村 有 史 吉 満 凛 吾	本 村 有 史		本 村 有 史 吉 満 凛 吾	
共通	上部消化器内視鏡	米村／胡／樋口	川 床 ／ 樋 口	川 床 ／ 樋 口	———	米村／胡／川床
	下部消化器内視鏡	米 村 ／ 樋 口	川 床 ／ 樋 口	川 床 ／ 樋 口	川 床 ／ 樋 口	米 村 ／ 川 床
	E M R / E S D	樋 口 裕 紀	川 床 ／ 樋 口	川 床 ／ 樋 口	川 床 ／ 樋 口	川 床 慎 一 郎
	E R C P	米 村 祐 輔	———	米 村 祐 輔	———	米 村 祐 輔
	セカンドオピニオン			要 予 約		

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

受付時間 **初診 8:30~11:00**
再来 8:30~12:00 (予約の方は除く)
 ※但し土日、祝日は休診(急患は除く)
 代表電話0977-27-1600

地域医療連携室へ
お電話ください

- 整形外科・婦人科 … 完全予約制
- 内科：リウマチ感染症内科・腫瘍内科・循環器内科・消化器内科 … 新患予約制
- 放射線治療 … 初診 8:30~11:00

問合せ先
ご案内

地域医療連携室より

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼

放射線科受付 0977-27-1722(直通)

- ・ 検査依頼は、電話にて受け付けております。依頼検査優先時間帯を設けています。
- ・ 結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼

地域医療連携室 0120-272-518(専用)
0977-27-2055

- ・ 乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- ・ 放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、待ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

◆その他、外来・入院に関する お問い合わせ ☎ 0120-272-518(専用) 月～金 8:30~17:00
 TEL:0977-27-2055(直通) FAX:0977-27-3008(24時間受信可)

九大別府病院だより Vol.37



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市荘園町30番10号

代表 TEL 0977-27-1600

URL <https://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/>